川口町公民館報
公民館報
第87号
発行人 古田島 正
印刷所 山[illegible]堂印刷所

誘致できた 新潟県蚕業試験場
……位置は貝の沢雪原地帯……

県内でも注目されていたこの問題が、去る七月末漸く解決し川口町へ設置されることがきまりました。

設置される場所は、通称「菅原および貝の沢」附近の一円で、国道十七号線と相川・牛ヶ島を結ぶ町道との十字路を中心とした総面積九、四ヘクタールにおよんでいます。

面積が広大なだけに、地元の相川、牛ヶ島の関係者から特段のご理解とご協力をいただき、その結果八月上旬地元関係者との間に仮契約が完了、九月下旬には県との間に契約が結ばれる運びになっています。

この事業は、川口町が町制施行以来、町への工場誘致対策とともに、県営施設を設置し、町の商工業発展ならびに産業の振興等町民に対する利益の向上と、住みよい町づくりのための重要な施策の一つであります。

これからの工事予定は、稲刈終了と同時に整地がはじまり年度中には桑の植付や一反区画の各種試験区ができあがり、来春整備えとともに試験場の建物が建築され各種施設も全部完了し、昭和四十四年度から蚕業試験場としてのしごとがはじめられることになっています。

ここで教育を受けた生徒や講習生は、養蚕技術者として実社会でおおいに活躍することになり、これが川口町の発展に直結する意義の深さからも蚕業試験場の完成する日が非常に期待されています。

県蚕業試験場位置図

消防力強化
消防ポンプ自動車購入で

町では消防力の充実強化をはかるためかねて国や県に対し補助金や起債の申請をしておりましたが、この程許可になったので消防ポンプ自動車を一台購入して東部地区に配置しました。この消防ポンプ自動車は既設置のものより性能がよく二線放水しても消火能力を継持できる強力なものであります。しかしながら消防力の充実は万一の場合に備えてのものであります。火器の取り扱いには万全の注意をはらいましょう。

新消防自動車

町の人口

(8月末)

世帯数		1.518
人口	男	3.704
	女	3.791
	計	7.495
出生		6
死亡		3
転入		22
転出		19

座布団贈つて長寿を祝す

ことしの敬老行事

九月十五日の「敬老の日」に町は、公民館各区長と力をあわせて、七十才以上の老人に座布団を贈って長寿を祝いした。

敬老行事には、いろいろあるが町では十数年来敬老会を催して[illegible]

まずい物 嫌いの物がない 九五才の 綱吉次さん

町内最高令者の武道窪の綱吉次さんは、ことし綱丸九十五才、目も耳も普通で家族と一緒にテレビを見ているが、新聞も読めるが、草取りも散歩もできるほどの元気ぶり。

吉次さんは病気もせず、三度の飯も家人と一緒にとっているが、食べ物に好き嫌いがなく、何んでもおいしく食べるという。又腹を立てることがなく、規則正しくよく働いたという。これが吉次さんの健康法であり、長寿の秘訣だとおもう。

いまでも朝六時に起床して、散歩をしたり、テレビをみたりしながら、曾孫の六蔵さん(童)ら家族一同の愛情を一身に集めてしあわせな長寿を楽しんでいる。

綱 吉次さん

町の長寿番付 (85才以上)

順位	部落名	氏名	年令
1	武道窪	綱 吉次	95
2	和南津	小林 丑蔵	93
3	牛ヶ島	江島 サク	91
4	中山	古田島松太郎	90
5	西川口	星野 タマ	90
6	和南津	丸山祐太郎	90
7	西川口	小宮山太郎次	89
8	田麦山	酒井 カン	89
9	〃	大洞 スイ	89
10	川口	中林 ナツ	89
11	木沢	星野 熊吉	88
12	武道窪	宮 トメ	88
13	和南津	覚張 サト	87
14	〃	喜多村 タノ	87
15	〃	関 福松	87
16	武道窪	阿部清太郎	87
17	川口	高橋松五郎	87
18	和南津	覚張 タマ	86
19	西川口	山田 タケ	86
20	〃	岡村 ケサ	86
21	〃	関 ミス	86
22	牛ヶ島	丸山 イチ	86
23	相川	井関治郎作	36
24	木沢	星野 スギ	86
25	和南津	丸山 アミ	86
26	〃	丸山 ヨミ	85
27	〃	喜多村 サワ	85
28	田麦山	桜井 チヨ	85
29	西川口	川上 ハツ	85

備考 90才以上6人、80才~89才まで90人、70~79まで369人 計465人 男女別、男187人女278人 比率男40%女60%

議員紹介

1. 関沢正雄 69 会社役員
2. 産業土木委員 十七号線改修特別委 上越線複線特別委
3. 消防分団長歴任
4. 川口一

1. 江島 啓 50 農業
2. 総務委員 蚕業試験場特別委員長 上越線複線特別副委員長 十七号線改修特別委員
5. 部落総代、消防分団長歴任
4. 牛ヶ島

1. 星野武夫 58 農業
2. 総務委員
3. 当選六回 社文委員長 副議長 部落総代歴任 永年議員表彰二回受賞
4. 木沢

共同調理で学校給食 給食車で運搬

田麦山小、中学校と和南津小学校の三ヵ校で、九月十一日から待望の完全給食が始まった。

町で完全給食を実施しているのは川口、県水岡小学校だけであったが、この三校も早くから希望していた。

今回八百人の調理施設をもつ川口小学校を"給食共同調理場"とすることに話がきまり、この施設を整備拡充、給食運搬車を購入して届けることになった。

この日十一時から田麦山小、中学校、和南津小学校の順で給食を運搬、待ちかまえた給食当番が、各教室毎にパンと牛乳、魚のフライ、すのものに果物を配給して、みんなして仲よく食べていた。

給食費は一ヵ月小学校が九百円、中学校が千百円にきまり、この共同調理場の運営は運営委員会が設けられて教育委員会の諮問をうけて審議することになる。

給食をたべる児童

議会だより

八月定例議会

八月定例議会は八月二十五日次のことを審議された。

◉一般質問

改選後、初の定例会とあって、九議員が二十三件について質問が行なわれ、当局の施政がただされた。ことに新人議員の町政に対する強い意欲がみられたが、今後の努力と活躍が期待される。

◉川口町助役の選任

当局より助役の選任について、石坂久平氏の同意を求められ、満場一致で可決した。

◉条例関係

①交通安全の保持に関する条例の制定

町に交通安全対策協議会を作り、事故防止、安全指導、広報宣伝、施設の設置改善、交通指導員の選任等を定めるもので、町独自で交通安全対策の運営を定めたもの。

②非常勤の特別職に対する報酬に関する条例の一部改正。

③工場事業場等設置奨励に関する条例の制定

町の産業振興を図るために、工場や事業場又観光事業施設を新設したり増設したものに対し、資産の額、従業員数等の区分範囲により、奨励金を交付したり、便宜を与えてやるもの。

④川口小学校給食共同調理場の設置に関する条例の制定

以上条例四件をそれぞれ原案通り可決した。

◉補正予算

①一般会計(第二回)

補正額の合計は、二〇一四一千円で、内容は別記のとおりである。主として、町道関係、干ばつによる災害復旧関係が計上された。

③水道事業会計

実質補正額四六〇千円は、田麦山簡易水道施設の、水不足を解消するための、水源補給対策工事費である。

その他国保特別会計、共済事業特別会計がそれぞれ六万円づつ計上されている。

財源不足の折から慎重に審議され、原案通り可決した。

◉決算認定

昭和四十一年度のガス事業特別会計と、農業共済事業特別会計の決算が認定に付された。監査委員(目黒寅吉氏、小宮山賢吉氏)の決算審査意見によると、創業以来悪条件の中を、加入戸数の増加と共に、前年につづいて黒字決算のできた事は、経営に努力のあとがみられ、さらに発展のために経営の更新合理化が望まれるという。

二会計はそれぞれ原案通り認定され、決算額は次のとおりである。

ガス事業会計
収益的収支
収入 一二一一万円
支出 一一九〇万円
差引 二一万円
資本的収支
収入 四一八万円
支出 四一八万円
需用家戸数 八一七戸
現在の設備三〇二六万円

農業共済事業会計
収入 六七一万円
支出 六六一万円
差引 一〇万円

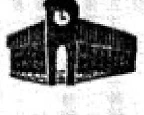
一般会計補正予算の主なもの

1.小千谷警察署設置パトロールカー寄附金	200千円
2.牛ヶ島揚排改良関係	500千円
3.橋中道線小屋新設関係	500千円
4.雪上自動車負担金	641千円
5.寺浦線舗装関係	5.000千円
6.西川口線改良関係	1.900千円
7.かんばつ災害復旧関係	9.500千円

(それぞれ事務費等を含む)

十月の納税

町民税 第三期
共済掛金 秋蚕 晩秋蚕



八、二八水害の慰問品並びに義援金の御礼

八、二八水害の慰問並びに義援金の募集につきましては御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

川口町長 星野輝政

本県の下越地方一帯を襲った集中豪雨による八、二八水害の被災者に対する慰問品並びに義援金の募集につきましては各位より特段の御協力を賜わり誠に有難うございました。義援金(総額別掲のとおり)につきましては九月十九日日赤新潟支部に寄託いたし、慰問品につきましては慰問袋のほかに多額の衣料品等を寄贈いただき全部で五五〇個が寄贈され、九月十六日次の被災町村の災害対策本部へ直接お届けして参りました。

被災地の惨状は誠に言語に絶し、山崩れと河川の氾濫によって道路はいたるところ、路盤を奪われ、農地は土砂で埋没しその上に押し流された家屋の土台や柱、そして根こそぎ抜けた杉や松の巨木が横たわり、荒漠たる平原と化し無惨の光景を呈しております。特に激甚地である関川村におきましては全村の殆んどがこのような惨憺たる状況でありまして、消防団員や部落民が押し流されて埋没した住家を掘り出し、行方不明者の捜索にあたっておりました。

ここに慰問品お届けの御報告をかね被災地の状況をお知らせ申し上げるとともにこれらの被災者が一日も早く復興に立ち上がるようお祈りするとともに御厚意をお寄せ下さいました各位に対し厚く御礼申し上げます。

(慰問品の届け先)
岩船郡 関川村
神林村
荒川町
北蒲原郡 黒川村
東蒲原郡 三川村

義援金総額 十三万九百十円
件数 一、四四七件
平均 九十円四十九銭

届けた慰問袋の山

保険料はなぜ上るのか

川口町国民健康保険

保険料が高い、上って困まるというが、どうしてそうなるのか、昭和39年度からの推移を次の表によりみてみましょう。

国民健康保険事業の推移 単位千円

	昭和39年度決算	昭和40年度決算	昭和41年度決算	昭和42年度予算
才入				
保険料	8.658	10.764	11.188	14.158
国庫支出金等	14.278	21.676	28.510	30.620
合計	22.936	32.440	29.698	44.778
才出				
保険給付費	21.156	25.986	35.956	40.455
保険施設費	1.031	1.140	1.219	1.417
総務その他	1.908	3.280	2.396	2.906
合計	24.095	30.406	39.571	44.778
収支差引	△ 1.159	2.034	127	0

この表から見ると保険給付費が全体の九〇％をしめていることがわかります。それにくらべ保険料は全体の三〇％であり今後医療費等に支払う保険給付費が上ると保険料も上ることになります。みなさんの国民健康保険事業は近年給付内容も充実し、めざましい発展をとげており、さらに事業の発展と充実を図り町民に親しまれる国民健康保険とするためには、被保険者一人一人が理解を深めることが大切です。

それ ガンバレ!! にぎやかな町民体育祭

スポーツで健全な心身をつくり、町民の親睦をはかるための町民体育祭は、ことしも九月三日川口中学校で恵ぐまれた秋晴れのうちに開催された。

午前九時二十分、まづ川口小学校児童の鼓笛隊演奏パレードをかわきりに、公民館各地区選手の入場行進が行われ、星野町長の開会挨拶のあと競技にはいった。

四〇〇人あまりの観衆のなかで、出場選手五三〇名が、地区館対抗争いや、だれでもできるタルころがし、つなひき、百足競争と、にぎやかに行われ、地区館対抗競技では昨年に引続いて東部地区館が優勝。このほか、川口中学校生徒の体操模範演技や婦人会の民謡踊りなどが、くりひろげられ、特に初参加の東部保育所児童の遊技は、すたんどの母親の声援のなかで、見事な出来ばいだったので、観衆の絶讃をうけるなど稲刈り前の一日を楽しく過ごした。

綱引き

ガス供給改善 事業始まる
本年度起債三百万円

当町のガス事業は、昭和三五年[illegible]月川口、西川口地域の供給を開始して以来、三八年には中山、野田、和南津、田麦山に供給を拡張、この間ガスの需用は著しく伸長し、近年は供給設備能力に不足をきたし、使用ピーク時には圧力が低下して利用者の皆さんにご迷惑をおかけしております。

町といたしまして、この問題を解決するため、本年度より三ヶ年計画によって、ガスの供給改善事業を通産省に申請したところ、第一年次分三百万円の起債(郵政省簡保資金)が認可されたので、このほど事業に着手いたしました。

◉本年度のおもなる事業内容

☆ガス管増設=バイパス管を、川口橋詰国道交差点より分岐、町道寺裏線(川口裏通り)に径七五ミリ管六五〇メートル増設し、ガス容量を大きくするもので、浅野工事株式会社の請負で着工いたしました。

☆減圧室の増設=中山、野田、和南津の圧送地域について、野田地内に、いま一ヶ所増設し、末端供給圧力の安定をはかるものであります。

◉第二年次には、製造設備の拡充増強を予定し、需用家の皆さんから安心してご使用いただけるよう計画しております。

水害被災地 救農へ
町農業委員会

町農業委員会が下越の水害被災地の黒川村へ救農のため出動して感謝された。

九月十二日町農業委員会は会長山田寅之助を隊長に全員して朝五時に出発、八時から夕方五時まで、二班にわかれ高畑、木崎の両部落で稲刈脱穀などを手伝って帰町した。

消防団長は 広井茂男氏

町の消防団長及び副団長の任期満了により、新団長に広井茂男、副団長に鈴木時起、岡村愼吾の両氏がきまった。

助役に石坂久平氏

八月定例議会で同意を得て助役に石坂久平氏が選任された。

石坂助役は昭和二十一年から書記、収入役を歴任、去る五月任期満了で収入役を退職した。大正五年生れ。

初の胃集団検診
結果は次のとおり

初めての胃集団検診が九月一日、二日及び八日に胃集団検診(成人病検診)車つくし二号によって川口中学校で実施しました。その結果をお知らせします。

受診された総数 一四五名

このうち
要精密検査 二八名 一九％
要注意 二二名 一五％
異状なし 九五名 六六％

要精密検査の通知を受けた方は早めに最寄の病院で検査を受けて下さい。

要注意(黄色紙)の通知を受けられた方は大体胃下垂が多いようですが、近くの医師から診断していただいたほうがよいとおもいます。

動力稲刈 機が威力

四倉の上の原開田地区に、このほど芝浦動力刈取機(十五万)がはいり威力を発揮している。

関武講さんと関勝蔵さんが、ことし共同で購入したもので、一反歩一時間で刈りたおし集束するという省力農業時代にふさわしい機械である。なお刈りながら結束できる動力バインダ機(四〇万)も出現しているという。川口町へはいるのも間近であろう。

稲刈機

健保特例法の実施で お宅にどう響く

健康保険等特例法が八月十八日制定され、この適用をうけることとなる者及びその内容は次のとおりです。

適用をうける者
①政府管掌健保(中小企業)
②組合健保(大企業)
③共済組合(国家、地方公務員)
④船員保険(船員)

以上の被保険者(本人)だけで、その家族や国民健康保険、日雇健保の方は除外されます。

改正の内容
一、初診料 百円が二百円に
二、入院時 一日三十円が六十円に。
以上は九月一日から
三、薬代の一部患者負担が一剤一日分の額が十五円をこえるときは、「一剤一日分ごとに十五円」の薬代を負担。
これは十月一日から

但しこの薬代については低所得者の免除という制度があります。

低所得とは、標準報酬月額が二万四千円以下をいい、これに扶養家族一人につき六千円が加算されます。

◉免除証明書の提示

薬代の免除を受けられる者は事業主から免除証明書の交付を受けて診療をうけるときに医療機関に提示することになっています。証明書の提示のないときは一部負担金を徴収されます。

なお詳細については、川口診療所へ御照会下さい。

寒い季節にそなえて 暖房器具はお早めに

稔りの収穫期がすぎますと冷い秋風にのってすぐ冬がやってきます。今からガス暖房器具の備え付け計画をおたてになって下さい。

必要にせまられた時期では製品が不足し、皆様にご迷惑をおかけすることがあります

ガス器具は、種類がいろいろありますが、安全、経済、便利な優秀器具を取扱っておりますから、お気軽にご相談して下さい。

ガス水道課 電一〇六、有二四九〇

軽自動車税について

オートバイや自動車をおもちの方は、税金がかかることはどなたも御承知のとおりですが、手続きが間違ってしまって二重に納めたり、売ってしまったのにまた税金が来たというようなことをよく聞きますので、この手続き等を御案内いたします。

先づ軽自動車とは五〇ccのオートバイから軽耕耘機や三六〇cc以下の四輪の自動車までをいいます。

買ったり売ったりした場合はオートバイの一二五ccまでのものと耕耘機は直接役場の税務課に届けて下さい。それ以上の車は新潟の陸運局に届けなければなりませんが、この手続きは買った店で手続きをしてくれることになっています。

又買替えたときも同じことですがこの場合鑑札だけを取かえてそのまゝにしないで下さい。車体番号や排気量等が違うため事故があったときに困りますから、又こうしたとき手続きがされないでいると古い車と新しい車が二重に課税されることがありますから気をつけて買った店とよく打合せて下さい。

この税金は毎年四月一日から三月三十一日までのうち冬三ヶ月を除いて九ヶ月分を一年分として算定し課税しますが年の途中に移動があったときは年額を買った月の翌月から廃車の月までを九分の九の月割計算で課税することになっています。随って他に売ったり廃車したときはすぐ標識(ナンバー鑑札)をつけて役場税務課及び陸運局に届けて下さい。

次に標識をなくしたりこわしたりしたときも早速届けて新しいのと取り替えて下さい。

税務課

火薬取扱者試験実施

次のとおり甲、乙種火薬類取扱保安責任者の試験が実施されます。

一、試験場
新潟市流作場
新潟市立宮浦中学校

二、試験期日
昭和四十二年十一月十九日

三、受験願書の提出期限
昭和四十二年十一月九日

四、受験願書の提出先
小千谷土木事務所
用紙も土木事務所にあります。

五、試験科目
1.火薬類取締法令
九時三十分より一時間
2.一般火薬学
十時五十分より一時間
3.面接試験
十三時より

(土木課)

十月行事予定

八 郡老人福祉大会(川口中)
一〇 町民野球大会決勝
一三 参院補選告示不在投票受付開始
二二 婦人バレーボール大会
二一~三一 秋の交通安全運動
二九 小千谷、川口駅伝大会

交通事故調 8月分

	件数	死者	傷者
8月	7件	1人	8人
1月から	37	3	24
昨年同期	36	0	40